

会 議 録

会議名	令和5年度 第5回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和6年3月10日(日) 午後1時30分～午後2時45分		
開催場所	星が丘一丁目自治会館		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 星が丘地区の課題について</p> <p>(2) 地域活性化事業交付金を活用した災害用井戸建設について</p> <p>(3) 令和6年度星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度まちづくり会議委員の推薦について ・令和6年度星が丘地区まちづくり会議等年間スケジュール(案) <p>4 閉 会</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

竹田会長あいさつ

3 議題

(1) 星が丘地区の課題について

竹田会長から星が丘地区の課題について以下のとおり説明したうえで、委員の意見を伺った。

毎回同じ内容を話し合っているという意見もあるが、突出した話しはなくても、地域の課題を確認し合い、課題解決のために様々な意見を出して、課題解決の具現化・具体化をしていければ良いと考えている。

<主な意見・質疑>

【「持続可能な事業・団体運営について」星が丘地区としてのスローガンについて】

○自治会では役員が大変という話をよく聞く。自治会活動も必要最小限のことであり、積極的に役員を減らしていくべきだと思う。例えば必要最小限の取組の一つに、自治会費の集金がある。少しでも集金件数を減らすために、横山2丁目自治会では自治会費の集金方法にPayPayを導入した。

○電子回覧についても、回覧板を回す人の負担を軽減することができる。現在の登録者は120人ほどになるが、自治会世帯数の3割を目指したい。

○地区連のホームページ及び地区社協のホームページが改ざんされたため、現在ホームページを閉鎖している。電子回覧においても、同じサーバーを利用しているため、配信ができないので承知いただきたい。

⇒○総会やイベントなどの問い合わせを受ける時、よくホームページを案内している。やはり、ホームページは必要なツールになる。

○星が丘一丁目自治会のお祭りについて、詳しく聞きたい。

⇒○盆踊りが中止となったため、縁日をやりたいとの声が出た。立ち飲みのような状況で盛り上がり、本来の自治会、人と人とのつながりはこういうことだと実感した。結果的に1,000人ほどの人が来場し、自治会に加入したいと言ってくれる人もいた。

⇒○非常に参考になる取組だと思う。

○千代田5丁目と千代田7丁目の子ども会が解散し、PTAへの加入も5割を切った

と聞いている。時間や労力、金銭的な負担に対して意識の変化が起きている中で、こうした状況を踏まえて今後の団体運営について考える必要がある。

(2) 地域活性化事業交付金を活用した災害用井戸建設について

竹田会長から、地域活性化事業交付金を活用した災害用井戸建設について、以下のとおり説明した。

<説明要旨>

令和6年能登半島地震の被災地では、水が足りないという報道が多く取り上げられており、災害時に対する「水」の確保は喫緊の課題である。

以前から、千代田7丁目自治会が災害用井戸を掘ることを考えていたが、費用が残り200万円ほど足りず、行き詰っている。そこで、市の補助金制度があれば、それを活用したいのだが、自主防災隊への補助金等では井戸を掘ることは対象としていないため、地域活性化事業交付金を活用できないか相談をした。

中央区役所との会議の中では、地域活性化事業交付金で井戸を掘ることは現行の制度で対象と考えるのは難しいとの回答だったが、井戸を使って子どもの遊び場やイベント等を行えば、地域活性化にも繋がると考えている。

また、自治会の敷地内に井戸があることを周知すれば、自治会加入促進に繋がるので、地域活性化事業交付金を活用して災害用井戸の建設ができるよう引き続き要望している。

<主な意見・質疑>

●現在、井戸建設の補助について、こんな方策はどうか、こういう部署へ働きかけをしたらどうか等、どうやったら交付できるのかを検討している状況である。

●井戸水は飲料水ではなく、生活用水として使用するのか。

⇒○生活用水として使用する。この地域だと70mほどを掘るようになるはずだが、そこから出る水は飲めないだろう。

⇒○田名にある水耕栽培農家も井戸水は水耕栽培に使えないと言っていた。

○交付金は3年を限度に交付できるので、将来的に千代田、星が丘、横山の3つの地域に井戸を設置したほうが良いと思う。

⇒○どういう風になるかは分からないが、複数掘るにしても、自治会の敷地内で井戸を掘らないと意味がない。

○昔、井戸水を住宅に引いていたことがあったので、恐らく水は出るだろう。

○川の工事をすると、井戸枯れが発生していた。他にも、人が歩くことで地面が踏み固められて井戸水が出なくなった事例もある。

(3) 令和6年度星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて

竹田会長から、令和6年度の星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルについて資料を基に説明し、委員に意見を伺った。

<主な意見・質疑>

○前回の意見で出ていたブルーシートだけ用意すれば問題ないという出店団体には、出店料を1,000円にして提供する。今まで通り机・椅子・テントが必要な出店団体については、出店料を5,000円にし、ガス代や電気代を各500円上げて良いと思う。

○星フェスで集まった人たちが、催しだけで終わるのではなく、その場で気軽に語り合っ、次に繋がるような場が出来たら、素敵なイベントになると思う。については、気軽に話せるようにお酒を提供したら、より親交が深まると思う。

⇒○小学校の敷地内でお酒を飲むのは適さないと思う。

⇒○酔って、羽目を外す可能性もある。二次会のような形で、お店で飲みながら親交を深めるなど、別の方法を考えたほうが良いと思う。

○救護所の場所について、毎年真ん中の位置に置いてあるが、端に寄せたほうが良いのではないか。

⇒●真ん中に設置してある理由としては、人を担ぐ時に一番駆けつけやすい場所で設置している。

(4) その他

竹田会長から、令和6年度まちづくり会議委員の推薦について資料を基に説明し、事務局から、令和6年度星が丘地区まちづくり会議等年間スケジュール（案）について資料を基に説明した。

<主な意見・質疑>

○来年度もZoom併用での開催になるのか。

⇒●Zoomも継続して行う予定である。

<その他>

有識者の奥山委員及び公募委員の杉本委員より、今年度限りでまちづくり会議委員を退任する旨の報告があった。

4 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	◎竹田 幹夫	会長	出席
2	公民館	○後藤 陽子	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	○坂本 洋三	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子	副会長	出席
6	地区子ども会育成連絡協議会	近藤 大助	会長	出席
7	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	欠席
8	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	出席
9	スポーツ推進委員	伊藤 福實	委員	欠席
10	健康づくり普及員協議会	杉原 美智子	委員	出席
11	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	出席
12	地域包括支援センター	柳下 恭子	センター長	出席
13	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	欠席
14	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	出席
15	相模原交通安全協会星が丘支部	岩本 義昭	支部長	出席
16	有識者	奥山 憲雄		出席
17	公募	杉本 千枝子		出席

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）